

平成 29 年（平成 28 年度事業）  
守谷市議会重点事業仕分け

守谷市議会

## 事業評価結果表

No.	事業名	評価結果及び理由
1	小学校教育用パソコン事業  中学校教育用パソコン事業  (※2事業を合わせて評価)	評価：おおむね適正である  タブレットを活用した授業は創意工夫され、児童・生徒がそれらに順応している授業風景を確認することができたことから、当該事業の重要性を改めて認識した。他方、当事業の予算には、各種プリンター等、パソコン(タブレット)以外の機器のリース料を含んだパッケージ化された契約であるため、個別機器の費用の適当性が不透明な部分がある。検証を十分に行い不要な部分などの見直しを行うべきと考える。
		<b>提案及び理由</b>
		事業対応：改善し継続する
		予算措置：継続する
		タブレットの配置については適正と考えるが、リース契約の中にはフルカラー高速プリンター、賞状用プリンター、3Dプリンター等が含まれており、それらが十分に活用されているか疑問である。また、当該事業費用に含まれない関連する消耗品費について明確にする必要がある。  成果の見える化としては、他市で行っているプレゼンテーションコンテスト等の取り組みを考える必要がある。先生の負担増との兼ね合いを考慮して教育方針を決めて行くことが大切と考える。
2	守谷駅前賑わい創出事業	<b>評価結果及び理由</b>
		評価：問題がある  つくばエクスプレス開業時からの歴史的背景を考慮すると、守谷駅前賑わい創出事業としては一定の評価はできる。しかし、当初の計画に反して、事業開始からリース期間中ずっと歳入より歳出の方が多く、その差額を一般財源で賄っていることは問題である。また、契約解除が更に大きな財政負担を生じさせることが明白であることも問題である。
		<b>提案及び理由</b>
		事業対応：改善し継続する
		予算措置：縮小する
		これまでは、守谷駅前賑わい創出事業であったが、平成29年度からは名称もアワーズもりや管理事業になっていることから、単年度収支で一般財源からの繰り入れ

		<p>がないような収支計画を図ることを提案する。</p> <p>①満室時の収支計画を立て現状収支との誤差を確認する。</p> <p>②親子ふれあいルーム事業からも賃料をとる。</p> <p>③建主の三菱UFJ及び医療モール管理会社、駐車場契約会社と賃料の再交渉をはかる。</p> <p>④固定資産税・都市計画税は収益と別に考える。</p>
3	地域活動補助事業	評価結果及び理由
		評価：かなり問題がある
		過去の実績をみても実施している園が少なく、行政が行う必要性は低い。また平成11年度を最後に国の補助事業が終了し、近隣市をみても廃止となっている。
		提案及び理由
		事業対応：休止・廃止する
		予算措置：予算措置しない
		子育て支援策は必要と考えるが、この事業は廃止し、時代のニーズに合った方向で考えるべきである。